



2011年 アバンティで国産綿復活プロジェクトが本格スタート、2021年には アバンティコットン倶楽部として全国のみなさんと連携して綿花栽培を開始。目的のひとつは日本の綿花自給率を上げ「耕作放棄地の活用」「雇用創出」「農業福祉連携」することにより地域の活性化に繋げること。ふたつめは、プリスティン製品に国産綿を混用し更なる循環するものづくりをすること。メンバーは農家、福祉施設、企業や商業施設、学校、美術館など多岐に渡る畑より情報をお届けします。



左) 2024年7月11日 緑綿の花が開花していた 右) 2024年8月22日 栃木県佐野市川田ファームにて剪定作業 プリスティンスタッフ前山

コットン倶楽部で栽培3年目となる栃木県佐野市「川田ファーム」では今年超長綿の海島綿、大陸綿のみどり、天使の3品種を育ており中でも天使が順調に生育中。担当の川邊をはじめプリスティンスタッフも畑へ出向き、剪定や摘心の作業をしました。8月22日に訪れた際にはコットンボールが少し弾け始めた綿を確認、9月4日にはすでに完全に開綿したコットンボールを確認。この夏は日本史上最も暑い気温となったが、地球温暖化の影響が鑑みられます。

## 全国37箇所順調に生育中。早くも綿花がはじけた畑も

アバンティコットン倶楽部4年目の夏。参画してくださる畑が少しずつ増えて、現在は全37箇所となりました。今年は例年以上に早い成長を見せており、畑全体が生命力に満ちあふれています。中でも特に注目すべき3箇所の畑の様子をご紹介します。

アバンティ代表奥森秀子と子供達  
種まき・綿織り・手紡ぎ・機織りを体験



### 松屋銀座で親子で学ぶワークショップを開催

松屋銀座の屋上でのコットン栽培は今年で3年目。7月から花が咲き始め、8月28日にはコットンが弾け昨年より順調に育っています。松屋銀座との取り組みは栽培だけでなく、5月19日には親子で学べるワークショップを開催しました。屋上の種撒きや、コットンからどのように服ができるのかを実際に体験していただきました。



が盛んな学校です。



## 本年より参画 筑波大学付属坂戸高校



埼玉県坂戸市筑波大学附属坂戸高等学校では、授業の一貫で以前より校内の農場でコットンを育てており、本年度からアバンティコットン倶楽部に参画。生徒たち自らで育て収穫したコットンを草木染めして作品制作するなど服飾文化の教育

5月31日には、アバンティ代表の奥森秀子が授業の一コマの中で、オーガニックコットンを取り巻く環境問題について、プリスティンがどのように循環したものづくりをしているのかを伝える授業を行いました。坂戸高校の畑では生徒が4人1組で8チームに別れて茶綿、みどり、白の3品種を栽培しています。



5月31日 坂戸高校石田先生(右)黒岩先生(左)とアバンティ代表奥森秀子 授業のあとにコットン畑の生育を確認。

# 異常気象が原因か 弾けたコットンがすでに発芽



9月4日、茨城県つくば市にある株式会社東京電機の畑で、見たことのない状態のコットンボールが発見されました。弾けたコットンボールの綿の中で、種がすでに発芽してしまっているのです。アバンティコットン倶楽部と栽培技術の連携協定を結ぶ信州大学繊維学部技術職員の小山田慎吾さんもいままで見ただことのない状態とこのことです。考えられる状況としては、コットンボールが開いた

後に綿繊維に多くしみこむほどの降雨があり、さらに日中の気温が発芽温度に達していたあるいはそれ以上暖かい日が数日続いたことで起きたのではないかと見解をいただきました。今年も留まることのない豪雨と暑さが、コットンの生育にも恐るべき変化をもたらしています。植物は気温や環境の変化に敏感な植物ですが、まるでエイリアンのようになっってしまった綿を前に、地球の気候危機を感じる夏となりました。

株式会社東京電機の畑よりこのコットンの連絡をいただいた9月4日、栃木県佐野市「川田ファーム」でも同様に、弾けたコットンボール内で発芽した種が見つかりました。この状態が他のコットンでも多発してしまった場合には、収穫量に影響がないか、引き続き全国の畑と生育状況を共有してゆきます。



9月4日栃木県川田ファームでも発見された

## #GoOrganic



プリステインでは5月種まきの時期に、国産綿の普及と綿花自給率0%の現状を知っていただきたく、お客様へオーガニックコットンの種をお配りしました。さっそく皆様より#GoOrganicのハッシュタグで投稿いただいた写真をご紹介します。

今回の投稿は@kotori\_lunchanさんより。無農薬で家庭菜園をしております中でオーガニックコットンもコットンも育ててくださっています。お客様の元でも国産綿が広がり、収穫の喜びを共にできると嬉しいです。

ぜひみなさまも#GoOrganicのハッシュタグと@pristine\_official @avantincのメンションをつけてコットンの様子を投稿してください。引用してご紹介させていただきます。

## 畑のグルメ!!

日本全国の畑をめぐる、アバンティコットン倶楽部担当の川邊が、束の間の休憩でいただいた絶品グルメをご紹介します。今年参画の千葉県香取郡野口ファーム。今回は5月27日に野口さんのご友人やスタッフも参加し一緒に種まきを行いました。種を植えたあと、浜辺のようなさらさらの砂質の影響で水やりをした際に種が浮いてしまい埋め直しをして正午過ぎに種まきが完了。作業のあとにいただいたポリarium満点の「天井とざるそばのセット」。地域に根付いた人気の和食屋で、野口さんともよく知っている間柄。粒の立ったお米は自ら無農薬で育てたもの。甘辛くさっぱりしたタレが疲れた体に染み渡る。



千葉県香取郡はやし味噌汁やお新香もついて990円  
コーヒーは無料でおかわり自由

2024年10月4日に開催される「第9回オーガニックライフエキスポ」にてアバンティ代表の奥森と野口義信さんが登壇されるイベントがございます。詳細はぜひ公式サイトをご覧くださいませ。

## おくもりのコラム

### 「最も暑い夏」

夕立がさると昼間の暑さが引き涼風を運び風鈴の音色に癒された、子どものころのあの夏はどこに行ってしまったのでしょうか。連日40度前後の暑さ、そして怖ろしいほどの豪雨、停滞する台風による記録的大雨に、命の危険にさらされている事を感じたこの夏。弾けたコットンボールの種から芽が出てくるというあまりにもショッキングな現象を目の当たりにし、身が震えました。

綿は化石資源とは異なり、成長過程において光合成で酸素を出す環境配慮型素材であり、CO2を削減する社会貢献型素材でもあります。温暖化を食い止め、人や生き物が少しでも棲みやすい地球に変えてゆかねば、との思いを強くした2024年の夏でした。

観測史上最も暑かったこの夏に綿花とともにたくさん汗を流して下さった皆さんに心から感謝申し上げます。



## 編集後記

2024年度は2年間の試作結果から選んだ2種をメインにスタートいたしました。メインの栽培品種として「天使の贈り物」と命名した棉ですが、スタートから発芽が悪い、生育が遅い、幾度か追い播きをしていただき大変ご心配をお掛けしましたが、8月に入り盛り返しを見せ今ではコットンボールの数、大きさとも良い状態になりました。今年も猛暑が続く時に豪雨と人にも植物にも大変厳しい環境ですが、それでも開花、結実、開絮しようとしている棉達、自然の力強さ感じます。綿で白くなった畑が楽しみです。(川邊)

